

(1/2)

2007年11月30日

報道関係者 各位

株式会社 千趣会

～冬至の夜、電気を消してキャンドルを灯そう 12月3日 大阪茶屋町、5日 西梅田で開催～
『100万人のキャンドルナイト@オオサカシティ』イベントに協賛します



株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、CSR(企業の社会的責任)ポリシーの1つである環境対策の一環として、2007年12月3日(月)大阪・茶屋町、5日(水)西梅田地区で開催されるイベント「1000000人のキャンドルナイト@オオサカシティ Candle Museum 2007 Winter」(主催:100万人のキャンドルナイト@オオサカシティ実行委員会、詳細<http://www.candle-night-osaka.jp>)に協賛いたします。

千趣会では海外植林を通じた環境保護活動を推進するとともに、環境省の地球温暖化防止の国民運動である「チーム・マイナス6%」にも参加しております。全国的にも広がりを見せる環境啓蒙のムーブメントの1つである本イベントの「都市生活者の環境意識の向上」という趣旨に賛同し、昨年に引き続き地元大阪の企業として支援してまいります。当日は現地にてプチフレグランスキャンドル6,000個の配布を予定しております。

このイベントは、2時間ライトオフ(消灯)した都市空間で、キャンドルの灯火とアートの「Museum」に身を置くことで、単に電気を消し省エネを考えるとといった旧来のエコロジー運動ではなく、一人一人が、自分や家族、未来の地球のために出来ることを考えるポジティブで文化的な活動です。この活動を大阪の文化の中心「梅田」から新しいお祭りの形として発信し、来る12月22日冬至の日のキャンドルナイトへのパーソナルな参加を呼び掛けます。千趣会は、今後も引き続き協賛の予定です。

千趣会の CSR ポリシー

株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、企業の社会的責任を改めて明確にするため、CSR(企業の社会的責任)ポリシーを策定いたしました。長期視点の持続可能な企業繁栄を目指し、女性支援、コンプライアンス(法令順守)、環境対策の3つを基本方針に掲げ、各種法律・ルールを順守し、適正で良識のある企業活動を進めてまいります。

千趣会の海外植林活動 <使った分だけ、木を植えよう>



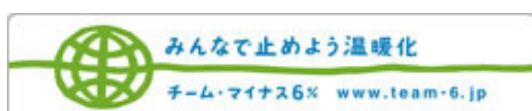
**カタログ使用全量分をまかなう規模の植林を。
私たちは大きな夢に着手しています。**

千趣会が発行するカタログは年間約1億冊、約4万トンのパルプを消費いたします。このため、千趣会では紙問題は最大の環境問題であると認識し、1993年からオーストラリアで約24,000ヘクタール規模の植林事業に共同参画しておりますが、当社の貢献分は、カタログ使用量の20%にすぎませんでした。

新たな目標は、カタログ使用全量分の収穫量。そのた

め2006年はラオスでの植林事業にも参画し、45%までの収穫を見込んでいます。

木を植え、育てる。育った木を伐採して紙の原料を作る。再び木を植える。少しでも多く、そして近い将来の自給自足のために。私たちは、本気で植林事業に取り組みます。



千趣会は「チーム・マイナス6%」に参加しています。

本件に対するお問い合わせ先
株式会社千趣会 大阪市北区同心 1-6-23
総務・IR広報部 IR広報チーム 田島、土井、浅川
TEL : 06-6881-3100 FAX : 06-6881-3050 e-mail m-tajima@senshukai.co.jp